広報 KASHIWA かしわ

48.1.1

No. 270

人のうごき
171,618人 （前月より＋936）
47,173戸 （前月より＋291）
（47.11.30現在）

発行：柏市役所 TEL
編集：市長公室広報広聴課 67－1111
毎月 1日 15日発行 内線 223

あけましておめでとう

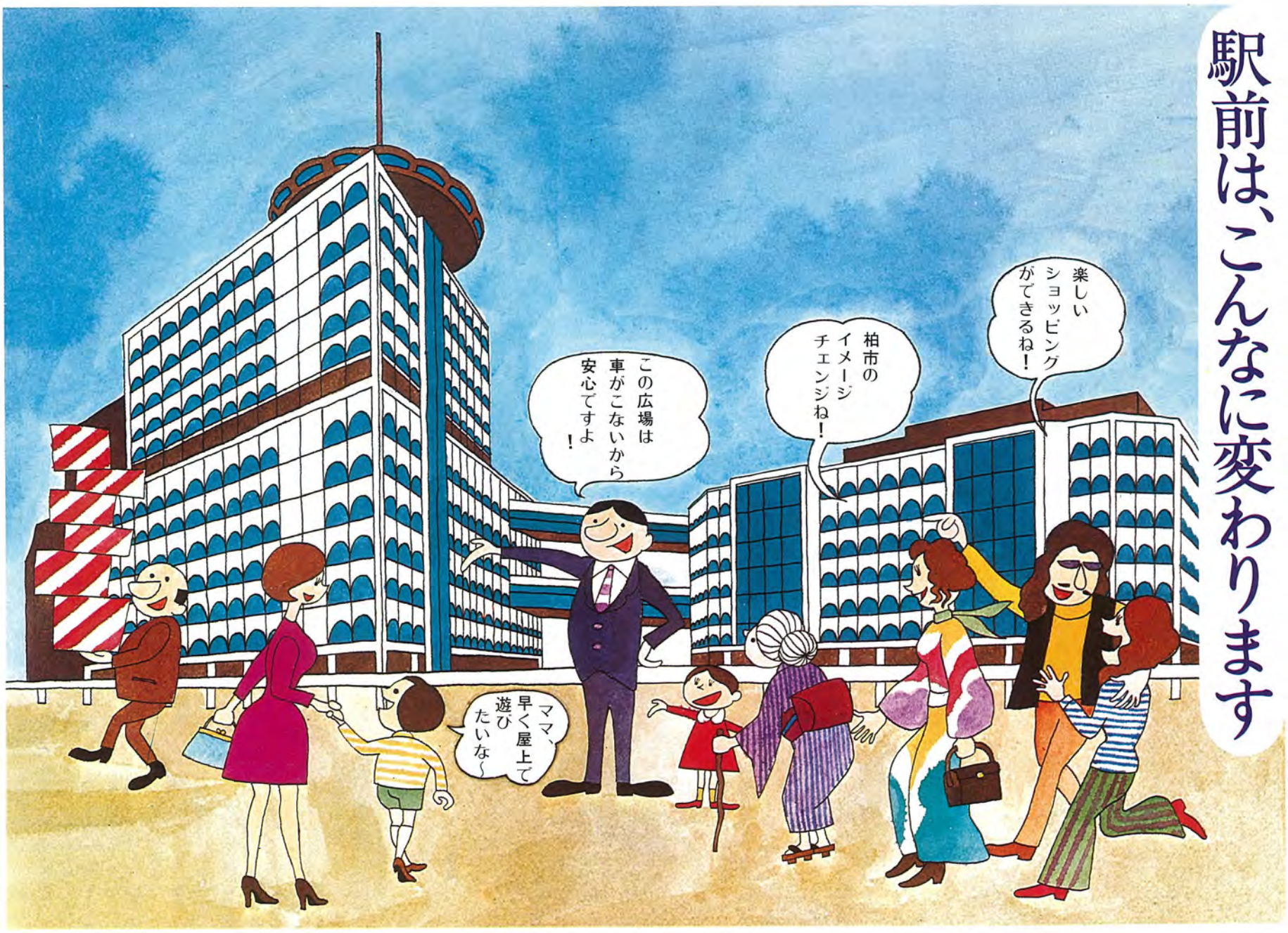
柏市が昭和45年から総事業費約92億円をかけて進めている、柏駅東口市街地再開発事業完成予想図。施行区域は駅前周辺およそ1.9ヘクタール。写真はその中心となる2つのビルと駅前広場。左側のビル(地上14階、地下3階)には、デパートが進出し右側のビル（地上8階、地下2階）には地元商店とデパートが入店、2つのビルは2本の地上通路によって結ばれます。駅前広場は2層になり、上は駅自由通路から2つのビルや駅前通りに通じる人専用の広場、下は車専用の広場に生まれ変わります。完成は、今秋10月の予定です。

市民の求める町づくりを

柏市長 山澤諒太郎

市民の皆さん明けましておめでとうございます。ことしは柏市が誕生して十九年目に当たります。首都近郊という恵まれた立地条件と力強い皆様のご支援・ご協力により、中堅都市として着実な発展への道を歩んでおります。しかし一方では人口の急増、急速に伸展する都市化が、さまざまな形で膨大な行政需要をもたらし、ますます拡大の一途をたどっております。私は昭和四十一年に市政を担当して以来、いまこの時期に、柏がやっておかなければならない都市及び産業基盤の整備に、全力を注いでまいりましたが、国の政策ともあいまって、予想以上の進捗を見せ、今日に至っております。今後は、こうした基本的施策の完遂と併行して、市民生活に密着したキメの細かい政策を最重点に、真に市民の求める〝住みよいまちづくり〟にまい進する覚悟でおりますので、市民の皆様のいっそうのご協力をお願いする次第です。年頭にあたり皆様のご健康と、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

駅前は、こんなに変わります



郷土文化　貴重な財産を守ろう　自然環境

軽妙なおはやしにのって獅子が舞う篠籠田の三匹獅子舞いは、毎年八月十六日の夕方、地元の西光院というお寺の境内で行なわれます。元禄時代、徳川五代将軍綱吉のころからのものといわれ、一年の豊作を願って行なわれます。踊りの手振り、囃子の調子、囃子ことばなどはすべて口伝として伝承されております。

盆綱引き
本市の数少ない郷土芸能のうちで、最も勇壮で男性的なものに大室の盆綱引きがあります。市北部大室地区で毎年8月15日の夜、若者がワッショイワッショイと綱を引き合うこの行事は、その年の吉凶を占ったと伝えられています。スタイルや内容に多少の変化はあるものの、今でも地元の人によって引継がれ、盆行事に欠かせないものとなっています。

布施弁財天
江の島や浅草と肩を並べ、関東三弁天のひとつといわれるのが布施弁天です。昨年から進められていた本堂の改修も終わり、朱色に染まった美しい曲線をみせています。

おびしゃ祭り
おびしゃ祭りは、船戸医王寺で毎年1月20日に行なわれます。「三番叟」「三助踊り」「おかめひょっとこ踊り」が、この地区独特のおはやしにのって披露されます。

利根川
茨城県との境になっている利根川は、江戸時代当時ここでとれたシャケが、川べりの村から年貢として領主に収められ、江戸の将軍家まで奉納されたといわれます。今はゆったりとした水の流れが、私たちが忘れかけている雄大な自然への郷愁をかりたててくれます。

手賀沼
手賀沼は、昔は今よりはるかに広く、小印旛沼といわれた時代もありました。漁場として古くから有名で、明治天皇もここのカモを賞味されました。今は一部で埋立て、開発されその様相も変わってきています。私たちが子孫に残したい柏の自然のうちの代表的なものでしょう。

かたくりの花
市内逆井駅から南東へ5分、東武線沿線の山林の山はだに群生する〝かたくりの花〟は、昭和41年4月に市指定天然記念物になっています。昔、かたくり粉はこのかたくりの根から作られ、食用として大いにもてはやされましたが、現在では4月に咲く薄紫色の小花が観賞用として目を楽しませてくれます。

ふくじゅ草
白雪を分けて咲くふくじゅ草はお正月の床飾りとして、皆さんに親しまれています。県内で自生しているのは、本市戸張地区の手賀沼のほとりだけといわれています。

あけぼの山公園
市内最大の桜の名所として知られている布施の「あけぼの山公園」は、若葉もえる春にたいへんなにぎわいをみせます。昭和45年に都市公園として指定され、市民のいこいの場になっています。またここは布施弁天を望み、利根川を中心とするサイクリングとハイキングコースの起点にもなっています。新鮮な空気の中、色とりどりのハイカーが利根の堤に点在する風景がみられるのも、もうすぐです。

柏駅から東口方向　(47年5月撮影)

柏駅から西口方向　(47年5月撮影)

柏のむかし 25

相馬巡礼

霊場と言えば、四国八十八か所巡りが有名です。早春、菜の花畑にはさまれた山路を、巡礼者が白装束で杖を持ち寺々を巡る姿は、四国の風物詩として、テレビや写真でよく紹介されます。

「巡礼」とは、きまった巡路にしたがい霊場、聖跡を参拝することですが、はじめは平安時代の貴族たちが名寺に願いをかけた参拝通夜が流行したことによると言われています。やがて、これにヒントを得た寺社側が、布施弁天にもはじめたことから民間教宣伝をはじめたことは、いうまでもなく流行するようになりました。特に、四国の霊場は、弘法大師の修行にからませて、僧侶の布教活動が盛んとなり有名になりました。

江戸時代になると、四国詣でが盛んになりました。関東三十三か所、坂東三十三か所などがそれです。

さて、新四国相馬霊場が柏市の一部である相馬郡の中にできたのは安永二年（一七七三年）のことです。開基は別名観覚光音大禅師と言われています。

この人はもともと信州の人ですが、幼少の頃から江戸に出て浅草の呉服店に、奉公していましたが、ふとした縁で筑波郡豊村に来てここで奉公しました。のち取手に移り住み呉服店をおこし前に奉公していた名をとって伊勢屋と名付けました。このため伊勢屋源六と称していたそうです。

布施弁財天にある68番札所だけでなく、各地に霊場巡りが盛んになりました。関東では秩父三十四か所、坂東三十三か所などがそれです。

さて、新四国相馬霊場が柏市の一部である相馬郡の中にできたのは安永二年（一七七三年）のことです。開基は別名観覚光音大禅師と言われています。

この人はもともと信州の人ですが、幼少の頃から江戸に出て浅草の呉服店に、奉公していましたが、ふとした縁で筑波郡豊村に来てここで奉公しました。のち取手に移り住み呉服店をおこし前に奉公していた名をとって伊勢屋と名付けました。このため伊勢屋源六と称していたそうです。

彼は信仰心が厚く商売熱心でもあったので伊勢屋は時日を経ずして大店になりました。当時取手は宿場町としてにぎわっていたのですが、宿場や近在の人たちは秩父巡礼や、はては四国まで行く人が多かったようです。

農民は、講を結び、一定の金銭を積み立てては、その中からクジに当たった者が巡礼に行くことになるのです。花野井に残る資料によれば、四国巡礼のために四十日の他出願を名主に出していますから、クジに当たったろうと思われます。

そこで彼は、四国に赴き分霊して取手を中心とした相馬霊場をひらいたのです。この時から光音と名乗り人々の信頼を集めたと言います。

取手宿の光音が、取手を中心として開基したものですから当然多くの霊場が取手に集中していますが、柏市にも三か所あります。布施の円性寺、東海寺、薬師堂がそれです。

相馬霊場の開基によって何も四国や秩父まで足をのばすこともなくなり、多くの「講」ができ巡礼はますます盛んになりました。

巡礼はもともと信仰からはじめられたものですが、しだいに娯楽として大衆の中にとけこんでいったので、幕末になると農業の妨げということで関東取締出役はこれを禁止しようとしました。しかしあまり実効はあがらなかったようです。

この巡礼は今でも行なわれており、東海寺（布施弁天）に行きますと、巡礼者の姿を時おり目にすることができます。巡礼者は、巡拝しますと紙札を宮などに貼って詣でたことのあかしとします。布施弁天の楼門の高い所まで、ところ狭しとこの紙札が貼られてありなかなか興味あるものです。

（市史編さん係）

わたしの意見

ホンモノの自然を多く

五十嵐　幸（旭町四―三―四・41歳）

草木の緑、きれいな水、澄んだ空気。豊富にあったこれらのものが今、柏から激しい勢いで減りつつある。あちがおの葉はオキシダントの斑点をつけるようになった。目々くすされて行く自然を、目のあたりに見ている私は、すさましいほどに都市化を急ぐ、柏市を無制限に人間をのみ込んでしまう柏市を、巨大な怪物のように思うときがある。だが、歩いてみれば、林や畑があちこちにある。自然を構成するスタッフは、まだまだ欠けてはいない。自然が美観だけのものなら、量より質をたいせつにすればよい。しかし、必要なのは自然の量である。酸素を供給する緑色植物、水の浄化を助ける川原や沼畔の植物は、ぜひとも多くなければならない。住みよい町づくりに欲しいのは神社の森などホンモノの自然をたくさん残す心使いである。自然は一度失ってしまうと、ふたたび取りもどすことは不可能に近いものだ。―花の散歩の著者・主婦―

経費面の補助を

増田善一郎（船戸一―七七・66歳）

おびしゃ自体は、どこでも見られるものですが、元和年間（一六一五―一六二三）に始められたという、私ども船戸のおびしゃ祭りは、この地区独特のものといわれています。

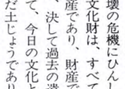
郷土色の先達が、豊作を祈願して始めたという意義深い、この行事を残そうと、地元では保存会をつくって取り組んでいます。

しかし、いちばんの悩みはやはり経費の点です。お面、衣しょう、それに笛や太鼓などの器材、練習などにかなりの経費がかかります。今は、部落の組織がしっかりしていますから、補助を受けたりして、なんとかやっている状態です。

郷土芸能は、部落の遺産だけでなく、みんなの遺産だと思います。ですから、このような面の助成や補助をもう少しお願いしたいと考えています。（談話）

―船戸おびしゃ保存会会長・農業―

たいせつにしたい文化財と自然



岩立清彦（増尾八九四・55歳）

柏市には、史跡や埋蔵文化財などが数多く残されております。しかし、その幾つかのものは、破壊の危機にひんしています。

文化財は、すべて祖先からの遺産であり、財産でありそれらは、決して過去の遺物ではなくして、今日の文化と生活と生んだ土じょうであり、将来の文化創造の起点でもあります。

柏は将来、三十万都市に発展しようとしており、三十万都市になったとき、緑がなくなり空気が汚染し、文化資源が消滅したとしたら、後に何が残るでしょうか。

文化都市とは、市民ひとりひとりが、その郷土を愛し、祖先の遺産である文化財を守り、心の交流を図って、地域社会発展の連帯感に結ばれてこそ、実現するのではないでしょうか。―柏の文化財と自然を守る会会長―

ぜひほしい後継者

豊島和男（大室三六七・28歳）

大室に、古くから伝わる「盆綱引き」は、われわれ西若青年団が、毎年行なっています。太い綱を引き合うので、たくさんの若者を必要としますが、現在は十八人しかおりません。

時代の風潮か、大室地区も農業を継ぐ人が、年々少なくなっており、したがって、地元に残る若い人も、しだいに少なくなっています。しかし、先人から引継がれた伝統ある行事を、絶やさないようにと、毎年多くなる見物人とは、うらはらに少なくなる関係者でがんばっています。私たちもこの辺で、新たな後継者づくりと、郷土芸能の保存を、真剣に考え直す必要にせまられているようです。―大室西若青年団世話人・農業―

家庭だより

元気で登校
新入学児の健康診断

この四月、新しく小学校へ入学するお子さんをお持ちのお母さんおめでとうございます。

柏市内での入学予定児童は、およそ三千二百五十人です。学校はいままで十六校でしたが、新しく旭小が開校する予定ですので全部で十七校になります。

四月の入学式にはお子さんが元気で登校できるよう今から心がけてください。

市では入学を前に今月九日かで健康診断を受けられない場合ら入学児童に対してそれぞれのは、そのことを入学する学校へ入学予定校で健康診断を行ないお知らせください。

ます　（四月に開校する旭小学校へ通うお子さんは柏第一小学校）。この診断の内容は、内科や歯科の検診のほか、簡単な面接と知能検査です。当日は次の点に注意してください。

○就学通知書と就学に必要な健康調査書を健康診断日に必ずご持参ください。

○当日は必ず保護者かそれにかわるかたが付き添ってください

○当日病気ややむをえない事情は、県立印旛手賀自然公園と協調しながら自然を楽しめる公園の立案を行なうとともに、柏公園は、さらに公園整備五か年計画によって施設を整え、緑のオアシスとしてまいりたいと考えております。（都市計画課）

○うわばきは各自持参してください。

○この四月入学するお子さんにすでに通知書を差し上げてありますが万一届かない場合は市役所教委保健体育課（内線三二四）へお問い合わせください。

市民の声

手賀沼・柏公園の整備を

井崎義治（学生）
弥生町
六～一一

わたしは都市地理学を研究している者です。昨年秋、市民文化会館がオープンし、今後、柏市の文化の向上におおいに役立つものと考えています。この会館のある周辺は、市内でも珍らしく緑が豊富にあり、市民のいこいの場所として親しまれています。

そこで、手賀沼・柏公園を中心とした広域の湖畔公園を整備してほしいと思いますが……

〔お答え〕

柏公園、市民文化会館の周辺は緑が豊富で、自然環境に恵まれたところです。また、手賀沼は県立印旛手賀自然公園に指定されております。

今後、この周辺の整備計画ですが、まず緑の保全を図るために緑地保全条例などの制定を考えております。また公園につい

公害一口メモ(5)
大気汚染（その一）

東京などでは、スモッグ注意報がひんぱんに発令されていますが大気汚染は特に気象とも関係し、またいろいろな物質が反応したりして発生します。

ではその原因はというと、自動車の排気ガス、土砂やごみなどのほかビルの暖房用のボイラーからでる亜硫酸ガスなどといわれています。東京の冬のスモッグは、このビル暖房によって排出するガスが大きな原因とみられています。

人体への影響をみてみると、三ＰＰＭで大部分の人が臭さを感じます。たとえば箱根などでガスが吹きでていますが、それが約一～三ＰＰＭの濃度と推定されます。

十ＰＰＭでは呼吸するとのどにしげきを感じます。三十～四十ＰＰＭ以上で呼吸が苦しく、四百ＰＰＭ以上で呼吸困難となります。

気管支炎やぜんそくは、この亜硫酸ガスが有毒ガスとまざっておこるものと考えられています。現在柏市には亜硫酸ガスなどによるスモッグ注意報基準はありません。

新入学児童健康診断日程

日	受付時間	実施場所
1月9日	1時	田中北小学校
16日	1時	土南部小学校
17日	1時	柏第六小学校
18日	1時	柏第二小学校
〃	1時	柏第五小学校
〃	12時30分	柏第八小学校
〃	1時	土小学校
19日	12時30分	酒井根小学校
〃	1時	西原小学校
23日	12時30分	光ヶ丘小学校
〃	12時30分	柏第一小学校
〃	12時30分	柏第三小学校
〃	12時30分	柏第七小学校
〃	1時	田中小学校
〃	12時30分	柏第一小(新設校旭小)
25日	1時	柏第四小学校
〃	12時30分	富勢小学校

高層ビルが、ニョキニョキ出現する柏の町並みに対処し、消防署のレインジャー部隊が誕生。本格的な火災シーズンに備え目下特訓中です。

市営住宅入居者つのる

根戸高野台に、ことし三月完成予定の市営住宅と、空家住宅（新年度予定分）の入居者を今月六日から十六日まで募集します。

○新設住宅3K十六戸家賃は、三月議会で決まりますが一万円前後の見込みです。○空家募集補充入居のため、入居時期や場所は空家ができるまで確定できません。○入居資格　現に同居または同居しようとする家族のあるかた、基準月収（入居する家族全員の収入から規定控除額と扶養家族ひとりにつき五千円を差し引いた額）が、二万七千円以上四万六千円以下または二万七千円未満であること、市内に住所か勤務場所があること、などの条件が必要です。○申し込みとお問い合わせ　市役所二階建築課（内線二六〇）までどうぞ。

東口再開発ビルの保留床公募

市ではいま、今秋完成を目標に柏駅東口を中心とした市街地再開発事業を行なっています。

この事業で完成するビルのうち保留床として市が取得する床の譲受希望者を今月十二日まで公募しています。

公募する床は、A棟（一施設建築物・柏市柏一丁目）地上六階から八階までと、B棟（二施設建築物・柏市柏一丁目）地上三階から十四階まで、またB棟、地上一階・二階の一部を、百貨店と銀行を対象にしています。

くわしくは、市役所都市開発部再開発課（64―七〇八二）にお問い合わせください。

二月一日から受け付け
市競争入札参加資格申請

市が四十八年度に発注する工事や資材、物品などの調達に入札参加を希望するかたは、二月一日から二十八日までに市役所二階、管財課契約係（内線二五六）へ「競争入札参加資格審査申請書」を提出してください。

申請書の様式は、市役所地下売店で販売している市指定の様式です。なお、工事と資材・物品とは別冊で提出してください。

農業委員選挙人名簿の登録申請は10日までに

市農業委員会では、昭和四十八年一月一日現在で、農業委員選挙人名簿の調整を行ないます

登録を必要とするかたは、昭和二十八年一月一日以前に生まれたかたで、十アール以上の農地について年間おおむね六十日以上耕作に従事していることになっています。

登録申請の受け付けは、一月四日から十日まで市役所農業委員会事務局（内線二五九・二九〇）と各出張所で行ないます。

用紙は、組合に加入していないかたには農業委員会事務局、または各出張所に用意してありますので受け取りください。

一月の三歳児誕生健診

○受診日時　十一・十八・二十五日の木曜日、午後一時から三時まで

○ところ　柏保健所

○対象　昭和四十五年一月生まれの幼児

手続きはお早めに
退職金共済制度補助申請

市では、去年の四月から十二月末までに従業員退職金共済制度に加入された中小企業主に対して、掛金の二十パーセントを補助します。

申請受け付け期間は今月いっぱいとなっておりますので、市役所商工課に用意してある補助金申請用紙に関係書類を添えてお早めに申請してください。

冬場休みます
サイクリング車貸出し

サイクリング用自転車の貸出しは、三月十五日まで皆さんの健康や事故防止のため、一時お休みとなります。

子どもニュース

牛に追われて
大忙しの人形づくり

中学校の社会科の副読本「郷土かしわ」は、私たちの町「かしわ」を知るうえで非常に役に立っていますが、この表紙絵になっているのが市内八幡町に住む松本節太郎さん（70歳）の「下総首人形」です。この人形は粘土やワラを使っていろいろの動物や顔を首の形にぬいて、高熱で焼き絵の具で色をつけたものです。今、ことしのエトゥ"うし"の作品づくりに追われています。

ひとつひとつていねいに手で作られる〝下総柏の牛〟

手賀沼の伝説で知られる「下総円柏の牛」は、大きな顔ですぐにも寄ってきそうな人なつっこい表情をして、ちょっと頭にさわるとゆっくりと首をふり出します。

この牛は、今月四日から東京のデパートで開かれる、全日本郷土がん具即売会に出品されることになっています。

心身をきたえよう
剣道スポーツ少年団募集

市剣道連盟では、市内小中学生の皆さんを対象に、次のとおり剣道スポーツ少年団員を募集しています。新しい年をむかえ、キミもボクも剣道で心身をきたえましょう。

○練習会場　柏一小、柏三小、柏六小の体育館

○会費　月四百円　入会金三百円

○申し込み　教育委員会保健体育課（67―一一一一内線一七二）か柏市剣道連盟黒沢清理事（67―〇九六三）まで

〝三学期のまとめを〟
冬休みを有意義に

正月の三が日を楽しくすごしたら、そろそろ三学期の心がまえをつくりましょう。

○三学期は、その学年でならった各教科の要点（たいせつなところ）をまとめ、かんぜんに自分のものにするように努力しましょう。

○そのためには、国語でも算数でも、今までに学習したことはなにとなにか。これからなにを勉強するのかをはっきりさせましょう。次に、わからないところ、もっと知りたいところをおさえ、「問題をもって学習」するように心がけましょう。

○みなさんひとりひとり、学力も教科の好ききらいもちがっています。自分のおくれている科目はどれか、どうもにがてだなというものをはっきりさせてとくに力を入れましょう。学習のしかたについても、自分にあったしかたがあると思います。

○国語、社会、算数、理科ばかりでなく、音楽や図工、体育などについても、たらないところを考えてみましょう。

○三学期のまとめがしっかりできると、四月からの新しい学年も楽しくなってきます。春はもうすぐ、がんばりましょう。

（教委　指導室）

1月16日は施設見学会
申し込みは5日から

○見学日　一月十六日（火）

○見学場所　▼南回りコース（午前八時半～正午）　市民文化会館・市民プール・法林寺大いちょう・工場見学ほか　▼北回りコース（午後一時～五時）　十余二学園・公設市場・布施弁天・工場見学ほか

○定員　各コースとも五十名

○申し込み　今月五日から十日までに広報広聴課（内線二二三）へ電話か直接おいでください。

市民相談案内

1月

法律相談　18日　22日　市民相談室　10時～3時（市顧問弁護士）

人権相談　16日　市民相談室　10時～3時　（人権擁護委員）

行政相談　25日　市民相談室　10時～3時　（行政相談委員）

交通相談　18日　31日　市役所3階会議室　10時～4時　（県交通相談員）

結婚相談　毎週水曜日　10時～3時　毎週日曜日　1時～3時　中央公民館

心配ごと相談　毎週水曜日　中央公民館　10時～3時

消費生活苦情相談　毎月第1・第3木曜日　市民相談室　9時～4時　（県消費生活苦情相談員）

家庭児童相談　毎週月曜～金曜日　9時～4時　土曜日　9時～12時　福祉事務所　（家庭児童相談員）

菅平かしわ荘案内

○あいている日

▼一月6～12、15～19、21～25、28～31日

▼二月いつでもあいています（十二月十五日現在）

▼申し込み　ご利用の三日前まで市役所二階市民施設建設事務所（内線二六三）へどうぞ。

市民文化会館一月の催し

☎64―九一四一

劇団エンゼルファミリー劇場　六日①正午②午後二時　入場料S五百円　A四百円　B三百円

成人式　十五日午前九時

家族そろって歌合戦　二十五日午後六時　入場券は往復ハガキでTBS宛

九時　入場自由

新春子ども交歓大会五日午前

でんわ

柏駅行政連絡所	64-4131
	64-4132
出張所	
豊四季団地	66-3811
光ヶ丘	72-2702
田中	31-5702
富勢	31-6622
土	72-4802
水道部	66-2191
中央公民館	67-2224
消防本部	67-5637
市立図書館	64-5346
市民文化会館	64-9141